

(第61回全日本学生弓道選手権大会女子団体1位、第61回全日本学生弓道選手権大会男子団体3位)▽ソフトボール(県少年女子(第68回)国体少年女子3位)▽なぎなた(第80回)全日本なぎなた大会試合競技団体の部2位)▽ボウリング(県成年男子(第68回)国体成年男子団体戦(4人チーム)2位)▽カヌー(スノー県カヌー協会(日本カヌー協会)県カヌー選手権大会男子カヤックペア200歳2位、同男子カヤックペア200歳3位、同男子カヤックフオア500歳1位)▽綱引き(行仁小(全日本ジュニア)綱引選手権大会男子ジュニア360歳以下クラス2位)木幡べんてんジュニア(同男子ジュニア360歳以下クラス3位)▽県高体連(県選抜(全国高校定時制制通信制体育大会柔道競技男子団体3位)▽県中体連(猪苗代中(全国中学校体育大会バドミントン競技男子団体1位)同女子団体1位)▽西郷二小(全国中学校体育大会ソフト二小競技男子団体3位)◇優秀指導者賞▽川本和久(福島大)佐藤光一(二本松市役所)斎藤克幸(相馬農高)原晃、柴田広道(福卓会)五十嵐修二(喜多方卓球ランド)志田正弘(スウィン大教スィミングスクール小名浜)朝倉裕朗(小名浜高)大堀均、本多裕樹(富岡高)白石吉徳(東日本国際大)和田広(帝京安積高)小野寺浩亀(勿来工高)鈴木宗徹(美村高)垣内泰(菅野建設)行仁小(二本松工高)小沢宏史(今川小)内容昌史(木幡べんてんジュニア)斎藤巨(猪苗代中)井戸沼正彦(西郷二中)◇特別賞▽根本理世(十六銀行)田倉倉翔太(クリナップ)

原野亜衣選手快挙！！ ジュニアジャパンカップで優勝

原野(チームダンロップ)組が日本一 ソフトテニス Jr.女子U-20



優勝メダルとカップを
手にした原野

ソフトテニスの第8回ジュニアジャパンカップダブルス女子U-20(15～18日・宮崎県)に本県から出場した住友ゴム工業白河工場「チームダンロップ」所属の原野亜衣(20)＝茨城県出身、群馬・高崎健康福祉大高崎高卒＝が同ダブルス部門

のカテゴリーで優勝した。大会は日本ソフトテニス連盟の主催で、競技者育成プログラムを兼ねて国内の精鋭40選手が出場した。原野は抽選でペアを組んだ小谷菜津美(広島翔洋高3年)と共に力強いストロークと息の合った連携プレーで勝

ち進み、日本一の栄冠に輝いた。

原野は入社2年目で、同部期待のホープ。22日から開幕する日本リーグに参戦2年目の同部のレギュラー選手に選ばれている。小谷は今季のインターハイダブルスの覇者で、ハイスクールジャパンカップも制するなど2冠の実力者。

19日、同工場で開かれた優勝報告会で祝福を受けた原野は「ダブル後衛での出場だったが、小谷選手と納得できる戦いできた。日本リーグ出場を前に弾みがついた」と語った。